

## ナンキンハゼ

小嶋祥三

門の横のナツツバキが枯れた後にナンキンハゼを植えた。ナンキンハゼは2007年に購入した苔玉に2本植わっていたうちの1本である。ピンボケの写真を下に貼るが、樹高50cm以下だったように思う。樹が成長してきたので、植木鉢に移した。最初は2本一緒だったが、大きくなってきたので別々の植木鉢にした。ナツツバキの後釜に座ったナンキンハゼは元気があるように見えなかった。妻は秋に紅葉するのを楽しみに移植したようだった。秋に移植したが、翌年（一昨年）はあまり元気がなく、枯れるのではないかと心配した。ところが昨年からとても元気になり、どんどん背が高くなった。今年もその勢いは持続した。現在の写真を下に貼る。樹高は4mを越えているだろう。ものすごい成長ぶりだ。



2007.6.3 撮影



2016.12.11 撮影。葉が大分落ちてい

ところが、である。このナンキンハゼは去年も今年もほとんど紅葉しなかった。落葉には赤黒くなったのも少しみられたが、大部分は緑のまま散っていた（もう一方の樹は鉢植えのままだが、葉が赤くなった）。風が吹くと一斉に散る。特徴のある形の葉が道路に散らばっている。掃除をして1時間も経つと元と同じ状態になってしまう。おまけに、葉が柔らかく平べったいので道路にへばりつき、掃除がしにくい。樹の選択を誤ったかと思うが、もう遅いようである。